



かなえるレター

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都

新年あけましておめでとうございます！



利用者さま

左は蓮の実の穴にちりめんを挿し飾ったものです。右のお人形は昔お友達に頂いたものでずっと大切に飾ってあります。

京都市 90歳代 女性
「ちりめん細工とお人形」

スタッフ

昔から色々な物を手作りされていたそうで、訪問した際もご自身で作った服を着ておられ、お部屋には写真のようなかわいらしい作品がたくさん飾られています。今もご自身で玄関まで歩き、車椅子に乗って外を散歩することを一番の楽しみにされています。

作業療法士 那須

かなえるリハビリ訪問看護ステーション (大阪)

ご利用者数 H27/12/15 時点
介護保険 802名 その他 8名
医療保険 348名 計 1158名 社員数 8名

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都(京都)

ご利用者数 H27/12/14 時点
介護保険 179名 その他 4名
医療保険 21名 計 204名 社員数 16名

ご利用者からの投稿募集

かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。俳句、川柳、随筆、絵手紙など作品の種類は問いません。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまで。

かなえるリハビリ
訪問看護ステーション都
〒604-8371
京都市中京区御池通
神泉苑西入神泉苑町 1-11
コマ・ビル 3階
tel 075-803-0536
fax 075-803-0537



<職種>

看護師 4名
理学療法士 6名
作業療法士 2名
言語聴覚士 2名
事務員 2名

ご紹介▽

Kさん、51歳女性。2012年に多系統萎縮症の診断を受けられました。今年の4月から訪問での言語療法を担当させていただいています。姉御肌でおしゃべり好き、同時に細やかな気配りと優しい笑顔が印象的です。

工夫を凝らしたインターネットの操作

Kさんは以前からiPhoneやiPadでメール、フェイスブック、ゲームなどを活発にされていました。現在もキーボードやスイッチ等を工夫して使いながら、フェイスブックに写真や文章をアップしたり、沢山の友人とメールをしたりされています。

右の写真は、KさんがiPadを使っておられる場面です。横向きに寝た姿勢で抱き枕を抱えることで手の操作性の安定が得られています。iPadはスイッチコントロールという設定で、画面を移動するカーソルに合わせてキーボードまたはスイッチを押して決定することができます。キーボードは操作しやすいように、ブックスタンドで角度をつけてあります。このような細かな工夫やスイッチ類の作製は、Kさんのご主人によるものです。



会話で指をさして使う「あいうえお表」

iPad

キーボード

スイッチ

Kさんにとって“発信することの意味”

病状の進行により、一旦は“見るだけ”になった時期もありましたが、様々な工夫で再度自ら発信できるようになったことについて、「みんなに“生きてる”っていうことをアピールできる。みんなを心配させなくていい。」と話されていて、周囲を気遣うKさんのお人柄が出ているなと思いました。

「主人や息子が（IT機器に）詳しくて、若いときからやっていたのが良かった」「楽になりたいと思うこともあるけど、二人の息子の成長と活躍を見るのが楽しみで、まだまだ長生きしたいし、揺れ動いている」と、日々病と闘い、折り合いをつけながら、前向きに生きるKさんの原動力についても話してくださいました。

言語聴覚士 英(はなぶさ)



～海上保安学校に通う息子さんを訪ねて、舞鶴にて～

かなえる★ジョナくん劇場

前回のかなえるレターの表紙を飾ってくれたジョナさま。神経難病を抱えながらも漫画家になる夢に向かって挑戦をつづけている22歳の青年です。

連載
第2回!

【完・120回】



新年のご挨拶



みなさま、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。かなえるリハビリ訪問看護ステーションは4度目、京都のかなえるリハビリ訪問看護ステーション都は2度目のお正月を迎えることができました。これもひとえにみなさまのご支援の賜物と、心より感謝しております。

さて、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの整備が進められていますが、これは高齢者のみならず地域で暮らすすべての方を対象としています。このような中、株式会社かなえるリンクでは大阪市西区において障害児相談支援・児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援を行う複合事業所の開設を計画しております。

本年も社員一同、みなさまから信頼され、頼れる医療専門職となるように努める所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

みなさまのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



株式会社かなえるリンク
代表取締役
谷 隆博

リハビリ まめ知識

喉が詰まった時の対処法

かなえるリハビリ訪問看護
ステーション
言語聴覚士
北川朝子



高齢者は、食べ物による窒息事故が起きやすいものです。気道は3~6分間閉塞すると死亡することもありますので、予防や応急手当の方法を知っておくと安心です。

<応急処置> ※成人・高齢者の場合

まずは確認！
「のどが詰まったの？」などと尋ねてみましょう。

・咳をすることが可能
→咳を出来るだけ続けさせます。
※咳は異物の除去に最も効果的です。
さらに、以下の方法で異物を取り除きます。

・正常に声を出すことができない
・うなずいたりするのが精一杯な状態
→「窒息」と判断
→速やかに救急車を呼びましょう。



① 腹部突き上げ法（ハイムリッチ法）

腕を後ろから回し片手で握りこぶしを作り、そのこぶしの親指側を傷病者のへそより上、みぞおちに当てるようにして、もう一方の手でこぶしの上を握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように押し上げます。
この方法は、意識がない傷病者、乳児、妊婦にはおこなうことはできません。

② 背部叩打法（はいぶこうだほう）

ひざまずいて、窒息している人を自分の方に向けて横向きにします。
次に手の付け根で肩甲骨（けんこうこつ）の間を力強く何度もたたきます。

①



②



かなえる

TOPIC

かなえるプラス勉強会 開催！

当事業所では、毎年12月に全社員を対象に「かなえるプラス勉強会」を開催しております。今回は、12/13（日）に開催いたしました。この勉強会は、ご利用者に「より良いサービスを提供するために必要なこと」を全社員で学び、情報共有することを目的としています。

今年度の勉強会では外部講師講演を行い、車椅子ツインバスケットボールチーム「Faith.」代表の奥野豊信氏にご講演いただきました。奥野氏は、脊髄損傷を受傷された「障がい者アスリート」です。講演会ではご自身の人生経験や日常生活で使用されている自助具の紹介、車椅子ツインバスケットボールについて、実演も交えながらわかりやすくご講演いただきました。講演の中で皆が感銘を受けたのは、奥野氏の「障がい受容」についての内容でした。受傷当時から現在まで、障がいとの向き合い方や考え方がどのように変化し、日々生活されてきたか、生の声を聞かせていただきました。当事者の経験や気持ちを聞くことが出来る機会は少ないため、「当事者の気持ちへの共感」ということを考える良い機会になりました。



また、午後からは「看護とリハビリの連携」というテーマで、講義と事例発表、グループワークによる情報共有を行いました。ご利用者に良いサービスを提供するために、看護師と療法士がどのような連携をすべきか、社員それぞれの意見も出し合い有意義な勉強会となりました。

来年度も「かなえるプラス勉強会」を含めた、ご利用者第一に考えた取り組みを実施し、社員一同研鑽を重ねたいと考えております。

教育研修部 門田 淳志

今年も一年、
かなえるリハビリ訪問
看護ステーション都
をよろしく願いいた
します！



謹賀新年

編集後記

新年明けましておめでとうございます。このかなえるレターも発行してちょうど1年となりました。記事にご協力頂いたご利用者の方々、かなえるレターを読んで頂いた皆さま、本当にありがとうございました。まだまだ力不足は感じますが、毎回ご利用者の個性が溢れた記事をお届けし、ご覧になった方がほっと心が温まるようなものを作りたいと思っております。先日ある作業療法士の大学教授が講演で「その方の歩まれた人生や考え方、その背景を深く知る事は良いリハビリを提供することにも繋がる」と言われていました。我々も、訪問で出会うそれぞれのご利用者の生活や人生に触れながら、職員一同地域の皆さまの力になれるよう今後も精進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

編集者 那須 香耶子